

かめやま式非常用ケータイ充電器をつくろう

大地震などの時、安否の確認や復旧支援の連絡にケータイ電話は必須となりました。阪神大震災や新潟中越の震災の時でも避難所では、ケータイ電話の充電のため、限られたコンセントに人々が群がったそうです。ケータイ電話の基地局は震度7でも耐えられるように整備されてきましたが、問題は停電時での充電手段です。こんな時に役立つよう市民活動グループ「防災減災チャレンジャーの会」が考案したのが車のバッテリーから多数のケータイが同時に充電できる「かめやま式非常用ケータイ充電器」です。

今年度、市民と行政の協働事業として10月25日(日)加太小学校で行われた「亀山市総合防災訓練」で小学生(高学年)みなさんと一緒に充電器を製作しました。



なぜこんなをつくるの？

集まった約20人の子供達になぜ作るのか説明しました。地震が起こったらまずは避難が第一ですが、その次にすることは何でしょうか？自分たちの無事を家族や知り合いに知らせることじゃないでしょうか。みなさんが連絡するのにケータイ電話を使いますよね。そこでこんな装置があればケータイの電池が無くても困りません。ですから、この装置を作りましょう。

「わーっスゴイ！」ハンダ付け体験

部品を組み合わせ、線にハンダを付けて装置を作製しました。熱でとける針金に子どもたちはビックリし感嘆の声があがりました。

今回作ったのは3台ですが、1台で同時に10個のケータイが充電でき、1日で100個充電できます。当日は、「亀山おもちゃの病院」のみなさんも手伝いに来てくれました。

装置は地域に贈呈しました

できあがった充電器は、地域の自治会に寄贈しました。これが役に立つ災害は起こらないのが何よりですが、いざという時に子ども達から「私たちが作った充電器がある」と声があがり、みんなの役に立てば嬉しいです。

亀山で考案され全国に例のない非常用ツール「かめやま式非常用ケータイ充電器」の詳細はインターネットでも紹介されています。(伊藤幸)

<http://shimin-kyodo.sakura.ne.jp/kirakame21/jyudentool/kameshiki.html>



“かめみちゃん”に決定！ たくさんのご応募ありがとうございました



9月21日のエキサイティングまつりから募集していました「亀山みそ焼きうどん」のキャラクター名が決まりました。

延べ180の応募の中から選ばれたのは「かめみちゃん」です。名付け親は、楠平尾の駒田さんで11月12日に記念品の贈呈が行われました。

駒田さんは、「亀山の「かめ」とみそ焼きうどんの「み」とかわいらしさを出すために「ちゃん」をつけた。「ちゃん(しっかり)」とした亀山の味(あじ=み)になればという意味も含んでいる。」と思いを語られました。

今後、「亀山みそ焼きうどん」のPRを全国展開しようと「亀山みそ焼きうどん」の普及に取り組む市民活動グループの名称を「B活の会」から「亀山みそ焼きうどん本舗」と改名しました。「亀山みそ焼きうどん本舗」は、亀山の新名物(B級グルメ)として「亀山みそ焼きうどん」を定着させようと頑張っています。現在は、市内の飲食店12店舗で食べられます。マップは、「亀山みそ焼きうどん本舗」のホームページ(<http://kirakame.sakura.ne.jp/misoyaki/>)に掲載しており、プリントできます。(伊藤幸)





市民交流の日 レポート 10月21日(水) 19:30～21:30 市民協働センター「みらい」

テーマ：おらがふるさとについて語ろう

亀山の良いところ

- ・川の橋の橋脚に石積みが多い。これは全国的に珍しい。
- ・水が豊かで、おいしい。
- ・亀山には、豊かな自然(川と里山)がある。
- ・のんびりしたところがある。
- ・交通の便がいい。
- ・凶悪犯罪が少ない。
- ・地形的に恵まれている。津波や火山の噴火、大雪で家がつぶされるなどの心配がない。
- ・「劇団CAME」のミュージカルで白鳥伝説を知った。ヤマトタケルノミコトの歌が良い。
- ・まちの開発ができていないのも魅力のひとつ。古いところが残っている。
- ・あいさつができる人が多い。みんなが声をかける町だと犯罪も少ない。



こうした方が良いと思うこと

- ・亀山の川や里山で子ども達をもっと自由に遊ばせたい。危険箇所の指摘だけで終わるのではなく、自然を活用したい。
- ・多くの大人は、子どもに「ここで遊んではいけない」と言うが、危険は体で覚えさせないといけない。
- ・自然が荒れたのは自然の利用をしなくなったから。多くの人が自然に入れば、道ができる。
- ・大人が他人の子も我が子と思ってしつけをしないといけない。

その他

- ・カメヤマローソクの創始者は、宮大工をしていた。地元に戻って来て、当時亀山には無かったローソク業を始めた。研究を重ね、赤道直下でも溶けない質の良さを世界的に認められるローソクを作れるようになった。2代目社長は、ローソクに装飾をほどこしたねじったローソクなどを昭和13年頃に創作し、輸出や海外に工場を作ることで会社は大きくなった。

12月21日(月)のテーマ：フリートーク

あなたの思いをお話してください。

午後7時30分～9時30分です。

どなたでも自由に気軽に参加できます。

～ 輪を広げましょう！ ～

あなたもぜひ、一度のぞいてみませんか？ (^o^)



12 / 12 “家庭ですぐできる料理を中国のお母さんに教わる”中国料理教室を開催

おいしい中国の家庭料理の作り方を教わりませんか。お申込みはお早めに！

と き： 12月12日(土) 午前10時～午後2時 受付：午前9時30分～

と ころ： 西小学校家庭教室

講 師： 早川 紅梅 氏

参加費： 1,000円

定 員： 30人(先着順)

申込方法：氏名・住所・電話番号を下記(田中)までお申込ください。

連絡先：亀山国際交流の会(KIFA) TEL 090-7602-4876(田中)

E-mail tanakay@aqu.a.ocn.ne.jp





12 / 5

ぽっかぽかの会 勉強会 ～先輩のお母さんの話を聞いてみませんか～

発達障害のお子さんを育ててみえる二人のお母さんに参加いただき、出生から就労までに悪戦苦闘したお話や今のお子さんの様子をお話いただきます。質問タイムも用意し、時間一杯みなさんからの質問にお答えいただきます。皆さま、ぜひご参加ください。

と き：12月5日(土) 午後1時30分～午後4時 受付：午後1時～

ところ：亀山市総合保健福祉センター「あいあい」2階研修室

講師：NPO法人アスペ・エルデの会より

現在就労しているアスペルガー症候群のお子さんをお持ちのお母さんお二人

参加費：300円(会員は無料)

定員：50名(先着順)

託児：定員7名*先着順(託児料1人につき200円)



申込先：ぽっかぽかの会 TEL&FAX 83-4956(浜野)

E-mail: pokkapoka_no_kai@yahoo.co.jp まで 氏名・連絡先・ご職業お知らせください。

託児希望の方は、保護者氏名・郵便番号・住所・お子さんの氏名・年齢をお知らせください。

アスペ・エルデの会とは...

子どもたち・専門家・スタッフ・親で組織している、子どもたちの発達援助をするためのシステムです。ここに入会している子どもたちは、医師及び専門家によって発達障害であると診断された子どもと成人です。専門家は、子どもたちを長期に渡り療育及び自立に向けてのサポートを行います。子どもたちの成長を助け見守り、居場所を確立すると共に専門家を育成し「生涯にわたる発達援助システム」を確立し、実践することを目的としています。

12 / 12

第14回てくてくマラソン大会

参加者募集

タイムを争う競技ではありません。ご自分のペースに合わせたコース選びと、無理のない速さでゴールを目指してください。この大会は、障がいを持ち、頑張っている人たちを応援する啓蒙活動の一つでもあります。

と き：12月12日(土) 午前9時30分～午後2時

ところ：市文化会館

コース：A 市文化会館周回コース 約0.9km

B 亀山駅折り返しコース 約1.5km(往復)

C 市役所折り返しコース 約2.2km(往復)

参加費：無料

*昼食あり。(無料) *雨天時は、内容を変更して実施します。

申込方法：氏名・住所・電話番号・コース・希望番号「1」とご記入のうえ、郵送またはFAXでお申込ください。



ボランティア募集

第14回てくてくマラソン大会で、障がいを持つ方の伴走をしていただける方やコース誘導などのお手伝いをしてくださる方を募集しております。ボランティアが不足しています。ご協力いただける方は、下記の要領でお申込みください。お待ちしております。

申込方法：氏名・住所・電話番号・コース・希望番号「2」とご記入のうえ、郵送またはFAXでお申込ください。

申込先：社会福祉法人伊勢亀鈴会 TEL059-378-8881(八野ワークセンター)本間・野口





あのひと、このひと

このコーナーは、市民活動団体などの代表者の方に、市民活動を始めたきっかけやこれから活動を始めの方へのアドバイスなどを率直なことばで語っていただきます。

今月は、エコクラフトサークル「なかま」の 小林 國子さんです。

エコクラフトサークルを始めたきっかけは、友達からいただいた手作りのミニバスケットのプレゼントでした。そのミニバスケットは、とてもかわいく、私もこんなのが作れたらいいなと思いました。その友達がエコクラフトを教えてくれるというので、他の友達を誘いエコクラフトサークル「なかま」を結成しました。女性ばかりの8人のグループです。



サークルの活動場所を探していたところ、市役所で市民協働センターで活動できると教えていただきましたので、「みらい」で活動しています。月1～2回のペースで楽しんでいます。

今では、みんなが編み方を覚え、バスケットや物入れかごなど色々な物が作れるようになりました。お互いの作品を刺激に、次は“あれが編んでみたい”と意欲が湧いてきます。作品を編みながら、作製の失敗談などに花を咲かせていると、アツという間に時間が経っていきます。

まだ、始まったばかりのエコクラフトサークルですが、これからも、この良き友達の指導のもとで、楽しい生きがいの場を長く続けていけたらと思います。

問合せ先：TEL 8 2 - 4 5 0 1 小林



活動写真
(みらいにて)



エコクラフトサークル「なかま」の作品



11月イベントからのレポート

満月の夜...ローソクであそびました

今年で第2回目となる亀山・商店街 in ART。今回のテーマは「天空のまちでアートでアソブ」で、11月1日には歩行者天国となり、路上でらくがき大会や長さ10mの紙に絵を書くなどの催しがありました。

各メディアでも報道され、他所から訪れる人も多く、東町商店街一帯がアートのまちに変身しました。



11月3日は寒い夜でしたが、夜空にくっきりと満月が昇り、法因寺の境内では月を水を入れたうつわの中に映し、その月を愛(め)でながらのゆったりしたひとときが流れました。リラのしらべや映像アートも楽しみました。ふれあい広場では地場産品でもあるローソクで壁を飾り、子どもたちと水フーセンで球状のローソクを手作りしました。(レポーター 伊藤幸)

準備進む第10回市民交流会

市民交流会は、今年度第10回目を迎えます。

開催会場が亀山市立東小学校に決まり、現在、準備を進めています。今回の特徴は、多くの市民活動団体に参加いただき、その活動を紹介いただいたり、大きな分野別に分かれてじっくりと話し合っていたり、時間をとったことです。各団体に所属する皆さんも、そうでない個人の方もこの機会にぜひ参加し、交流を深めてはいかがでしょうか。



(レポーター 伊藤幸)

第10回市民交流会

と き：2月14日(日)午前9時30分～午後3時30分

と ころ：亀山市立東小学校

内 容：各種市民活動団体の紹介、市民交流、分科会、昼食(無料)、全体会など

彦根の市民活動団体と交流しました

11月19日、彦根市の市民活動団体と交流するツアーが行われました。このツアーには、市広報などを見て応募されてきた20名程が参加しました。

彦根ではまず、ひこね市民活動センターの事務を担当する山名さんに活動内容を伺いました。ひこね市民活動センターでは、各市民団体のネットワークを作る活動をしていて、毎月15日の夜には、きらめき亀山21のように集まり、情報交換等をしているそうです。公設民営で、電気・水道代など維持経費は市からお金が出ないので、各市民団体から年間3,600円を集め、県の補助を受けて運営しているとのことでした。



ひこね市民活動センターにて

お昼からは、NPO法人彦根景観フォーラムの山崎理事長(滋賀大学の教授)が活動内容を説明してくださいました。彦根には、江戸期の足軽(武家)屋敷が多く残っており、それらの保存に力を入れ、調査やマップ作成、映画会などのイベントや世界遺産登録に向けてのフォーラム等を開催しているということでした。山崎先生は「市民が動いて、一生懸命にまちの活性化に取り組みれば、行政は動く。みなさんも頑張ってください。」と激励されました。



足軽屋敷と辻番所の会の渡邊理事

その後、足軽屋敷の保存活動をしている辻番所の会の渡邊理事に現地を案内して頂きました。彦根の皆様のおかげで、とても良いツアーとなりました。ありがとうございました。(レポーター 木崎)



使わなくなった風呂屋を町の駅として活用



12 / 12 元気づくと大いに語る！！ 出会い・生きがい・ひろがる夢

古い着物を再利用したミニ着物作りや子どもたちの防災意識を高める活動、和紙に筆で記す即興詩など多彩な市民活動をされていて、鈴鹿では有名人の南部さん。

まわりを元気にする南部さんのお話をあなたも聞いてみませんか？！

と き：12月12日(土) 午後1時30分～午後3時30分
と ころ：市民協働センター「みらい」1階多目的ホール
講 師：NPO災害ボランティアネットワーク鈴鹿 理事長 兼
NPOまちの縁側育くみ隊 顧問 南部 美智代 氏

参加費：無 料

* 申込み不要。



連絡先：「みらい」TEL 84 - 5800 または 市民相談・協働推進室 TEL 84 - 5008

平成22年度 市民活動のための補助金申請団体一覧です

来年度の市民活動のための補助金を11月13日(金)まで募集していました。この補助金(市民参画協働事業推進補助金)に交付申請して来た団体は、次のとおりです。2月には、申請団体が選定委員会に公開でプレゼンテーションされます。みなさん、見に来てください！ (市民相談・協働推進室)

団体名	活動内容	区分
かめやま温暖化防止サークル	要らなくなったゴミを利用した工作や講座などで地球温暖化防止の啓蒙を行う。	スタートアップ
車椅子レクダンス普及会 亀山支部	心とこころのバリアフリー環境をつくるため、車椅子を使ったレクダンスの普及活動をする。	ステップアップ
鈴鹿の国方言研究会	今やなくなろうとしている地域の無形文化(方言)を調査し、報告書としてまとめ、今後の地域づくりに役立てる。	ステップアップ
亀山童謡フェスタ実行委員会	亀山童謡フェスタが第10回を迎えるのを記念して、NHK教育テレビの歌のお姉さんや地元の演奏団体を招いて開催する。	ステップアップ
亀山わらべうたあそびの会	わらべうたで異年齢の友だちや親子・高齢者との交流を図り、子どもたちに遊びながらふるさとを伝える。	ステップアップ
アートによる街づくりを考える会	東町商店街で空き店舗やウィンドウを利用して、アートによるイベントを行うことで、商店街の活性化につなげる。	ステップアップ
みつまたを愛する会	深山に広がる「みつまた」を知ってもらうためイベントを開催し、その保護に努める。	ステップアップ

市民活動ニュースに掲載する情報・お便りを募集しています

詳しくは、市民相談・協働推進室 (Tel 84-5008、Fax 82-1434、Email : shimin@city.kameyama.mie.jp)
又は、市民協働センター「みらい」(Tel 84-5800、Fax 84-5801、Email : mail@shimin-kyodo.sakura.ne.jp
東町一丁目8番7号)までご連絡ください。

編集作成：「きらめき亀山21」広報部(問合せ先：亀山市民市民部市民相談・協働推進室〒519-0195三重県亀山市民本丸町577番地)
市民活動ニュース配置場所：毎月21日市民交流の日・本庁ロビー・市民協働センター「みらい」・関支所・図書館・歴史博物館・医療センター・総合保健福祉センター「あいあい」・関町北部ふれあい交流センター・林業総合センター・鈴鹿馬子倶楽部・老人福祉センター・健康づくり関係センター・青少年研修センター・各地区コミュニティセンター・亀山郵便局・亀山駅前郵便局・亀山駅・百五銀行亀山支店・市民のショップねこの館・茶気茶気・オアシス館・鈴鹿県民センター・みえ市民活動ボランティアセンター(津市)
ホームページ <http://shimin-kyoudo.sakura.ne.jp/kiarakame21/> 市民ネット <http://www.shimin-kyodo.sakura.ne.jp/shiminet/>
「きらめき亀山21」メーリングリストへの加入は「きらめき亀山21」HPより登録できます。